



去る十一月二日、徳島県護国神社例大祭が、厳粛に斎行された。昨年度に引き続き、本

年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止と参列される方々の健康を考慮し、規模を縮小し

ての式典となった。

当日は、

岡田強徳島県隊友会会長、飯泉嘉門徳島県知事、坂千代克彦徳島県遺族会会長から祭文が奏上されるとともに、岩丸正史徳島県議会議長をはじめ、関係各方面からの来賓をお迎えし、県下各地の遺族代表の方々とともに玉串を捧げて

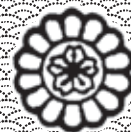


御祭神に對して感謝の誠を捧げるとともに、総理をはじめ全ての国民が、感謝の心をもつて靖国神社、護国神社に自然な形で参拝される日がやってくることを願われ、さらに高齢化する御遺族の支援が誓われたものである。

また、今年も昨年に引き続き飯泉知事が参列されており、来年以降も引き続き知事ご本人が参拝されることを願うところである。

令和三年度 護国神社例大祭が斎行される

令和三年度



一般財団法人 徳島県遺族会

会報

発行所 徳島市雑賀町 東開21番地1 一般財団法人 徳島県遺族会 TEL (088) 636-3212 FAX (088) 636-3213 http://izokukai.jp/ 発行責任者 坂千代 克彦 印刷 グランド印刷株式会社

臨時理事会と臨時評議員会を開催

徳島県遺族会定款を改正 本県遺族会名誉会長に増矢稔氏

徳島県遺族会では、第二十五回臨時理事会を九月七日、第十一回臨時評議員会を九月二十八日、護国神社において開催した。

前会長の増矢稔氏に対し、今後も、本会の運営および発展に寄与していただくため、県遺族会定款を改正する議案を審議いただき、原案のとおり決定した。

九月二十八日付で、増矢稔氏に徳島県遺族会名誉会長として就任いただくこととなった。なお、任期は現役員と同じ二年間とし、再任を妨げないものとしている。

語り部事業のご案内

徳島県戦没者記念館にて 毎月第2土曜日開催 (13:30 ~ 14:30)

11月13日(土)・ 12月11日(土)は延期

(新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為)

●第66回 1月8日(土)

上 浦 喜代志氏 (80) (徳島市)

※ホームページにて詳細が決まり次第掲載致します。

携帯電話のバーコードリーダーで下記のQRコードを読み込んで下さい。



校外学習で南部中学校二年生が来館



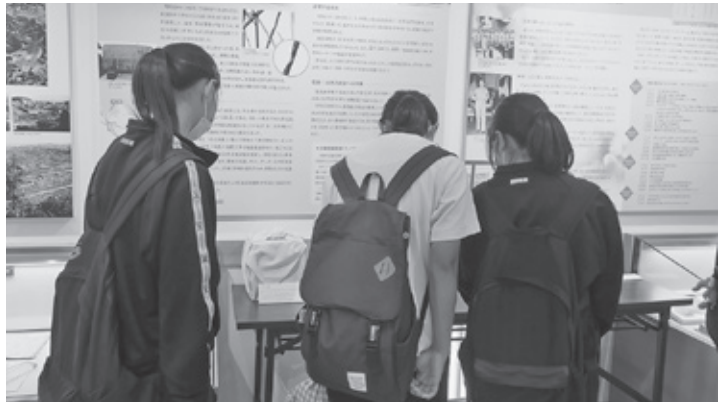
徳島市南部中学校の二年生の生徒と引率の先生を含め総勢約二百名が、十月十五日(金)、校外学習の一環として「徳島県戦没者記念館」に来館しました。来年三月の鹿児島方面への修学旅行と合わせ、平和学習の効果をはじめるため、先の大戦

八千名を越える英霊の遺影の多さに圧倒し、さほど年齢の違う戦没者が数多くいらっしやることを知り、驚きを隠せない表情でした。また、遺品・遺書などを見て質問したり、メモを取ったりと熱心に見学していました。

切さについて考えるための学習として計画されたものです。出発前に学校で「戦争と平和」のVTRで事前学習を行い、その後、徒歩で三班に分かれて当館に来館し、平和の尊さや戦争の悲惨さを展示パネル・遺品などで学びました。

見学後、参集殿に移動し、『もうひとつの沖繩戦記』のDVDを上映し、沖繩戦の体験談を子ども達が朗読するのを静かに耳を傾けながら、当時の悲惨な映像に目をそらすことなく、一言も言葉を発せず真剣に見入っていました。

後日、「僕たちくらしい子どもが戦争の体験をしたんだと思うと本当に怖いことだと感じた」、「戦死した方は神様となって、私たち日本の国民を守ってくれたことに感謝したい」



「遺品を見て、改めて戦争は本当にあったことなんだと実感した」、「広い建物がほぼ遺影でいっぱい、これだけ多くの人が戦死したのだと実感した」、「戦争を忘れてはいけないことを後世に繋ぐ施設はとてもいいと思うた」、「今私たちは学校に行き、したいことも出来ることに感謝したい」日本はこのような経験をしたから今があり、戦争で戦った人たちがいるから、今平和な日本があると思った」、「戦没者のご遺族が記念館を建ててくれたので、戦争について理解を深めることが出来た。ご遺族の方に感謝している」等の感想を頂きました。

初詣

平和の祈りとともに

徳島県護国神社

《諸祈願》

家内安全・厄祓・交通安全・会社新年祈願等

《開門時間》

元日は、午前〇時から午後六時まで
二日以降は、午前八時三〇分から

午後五時まで

《左義長》(どんど)

一月十五日(土)午前十一時から神事・午後三時まで。お正月のしめ飾りや古いお札などお焚上致します。

《年末年始も密をさけて安心の参拝を》



徳島県護国神社社務所
TEL 088-669-3090

第七回 平和作文コンクール

前月号に引き続き、平和作文コンクール優秀賞作品を紹介

優秀賞作文 「戦争と平和」

徳島文理中学校 二年 山本 恭花さん



私は戦争といえば広島原爆や沖縄の地上戦のことぐらいしか知識がなく、自分が住んでいる徳島のことは何も知らなかった。そして、最近学校で戦時中の徳島の様子や体験した方々のお話をビデオで見た。すると、

徳島ではたった二時間で死者が千人も出たこと、その後、徳島の町は火事で燃えていったことがわかった。当時こんな状況だったなんて全く知らなかった。燃えていく町、空から降ってくる爆弾、大怪我を負った人々、そんな光景を想像しようとしてもできなかった。

さらに、経験した方の話を聞いた。ある人は火傷を負ったため近くの池に飛び込んだそうだ。周りには地域の方々もたくさん逃げていた。皆、自分のことに必死だった。飛び込んでもまだ熱さは残っていて、炎が段々と近づいていく。地獄のような絵図だったと思う。

また、ある人は従兄弟と自分の家族と離ればなれになり、何週間も探したが結局見つからず、葬式での遺骨は灰だったという。私もしその人の立場だったら、現実を受け止められず、ずっと探し続けてしまうと思う。でもこの人は前向きに家族の分まで生きていくことを決心していて尊敬した。

この平和な世界で生きている私には戦争のことなんて想像できない。だが、戦争について少しでも理解しようとするのが大切だと思う。今日、戦争の風化が危ぶまれている。だが、私達が戦争についてこのように考えること、被害者の話を後世へ伝えていくことにより戦争の記憶の風化を防げるのではないだろうか。こうした中で戦争についてより深く考え、知ることができた。これからももっと理解し、知ること、後世へ伝えていくことが、今、我々のような若者世代がすべきことなのではないだろうか。

これからは、戦争という愚かな行為をせず誰もが笑って過ごせる平穏な日々が続くことを心から願っている。

優秀賞作文 「我が家と戦争、コロナ禍について」

牟岐中学校 三年 白木 誠志さん



僕の父は、海上自衛官だった。今は、日本地雷処理を支援する会、JMASという元自衛官が設立したNPO法人でボランティアをしている。パラオ共和国で、海に沈んだままになっている大戦時の不発弾の処理が、父の主な仕事だ。

小学校六年の夏休み、僕はパラオへ行った。母が、おばあちゃんに息子の活躍を見せに連れて行く、と言って八十四歳の祖母も一緒の旅だった。パラオの首都、コロールの空港で祖母の車椅子を押してくれた空港の職員が、僕たちを迎えに来ていた父の着ているJMASのユニホームを見て、「Oh! JMAS! THANK YOU!!」

と言った。日の丸とパラオの国旗とJMASのロゴの入ったTシャツを、現地の人は見ただけで分かって、更に感謝していた。毎日海に潜って危険な作業をしている父は、日焼けして真っ黒な顔になっていて、カッコイイな、日の丸を背負って頑張れ、と思った。

パラオの海は深く綺麗で、熱帯魚も色鮮やかだった。でも、浅瀬に茶色くなったゼロ戦が沈んでいて、プロペラの一部が水面から出ているのを見た。七十年以上、ここに墜落したままになっているのを見た。ここが実際の戦争になった場所なんだ、と実感した。戦争は、もう絶対にしてはいけないと思った。

今は、世界中がコロナウイルスとの全面戦争中だ。僕自身、去年五月の修学旅行が延期になり、結局、中止になってしまった。医療従事者の母は、一年前から、入院や隔離になった時に備えて荷造りしたスーツケースを部屋の隅に置いている。僕は、こんな状態だって、平和だとは思えない。

今まで当たり前に出ていた事が、出来なくなってしまうが、元の日常に戻るまで、健康でいる事、今できる事は、後悔しないように、精一杯する事を目標にしたいと思う。

徳島県戦没者記念館

第十二回特別企画展

井戸も掘る医者..

ペシヤワール会の

医療活動・緑の大地計画

一 開催趣旨

現在も世界各地で内戦や紛争が行われており、その結果、多くの人々が命を失い、または難民となって苦勞している現状があることを知らない人が多い。

本特別企画展では、ペシヤワール会が行っている、砂漠化した農地を回復し、難民の方々等の慢性の食料不足や栄養失調を少なくするための活動を紹介することで、戦争等により発生する事実と平和の尊さについて、一人でも多くの方々に学んでいただく機会を提供するもの。

二 時期

令和四年一月十四日(金)

二十三日(日)

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性有

三 主催・協力

一般財団法人徳島県遺族会
徳島県戦没者記念館奉賛会
立命館大学国際平和ミュージアム

四 展示物

ペシヤワール会の活動を紹介するパネル、パンフレットなど

令和三年度 上勝町戦没者追悼式開催

令和三年八月二日午前九時から高銚公民館において、令和三年度上勝町戦没者追悼式が開催されました。昨年度は、コロナ禍ということで開催できませんでした。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として来賓や参列される方々の安全面を考慮し、最小限の人数で行いました。

上勝町遺族会東功会長は、「戦後七十六年を迎え戦争を知らない世代となりつつあるが、どんなものであったのか忘れてはならない」と述べられ、沖繩本島南部での戦火を当時体験された方の言葉を引用されたり、遺骨収集の際の体験等を交えたりして戦争とはいかにむごいものか

地方だより



を話され、戦没者の永久に安らかならんことと、世界のすべての人々が安心して生きていける世の中であることをお願いし式辞とされました。

来賓には、花本靖上勝町長、星場真人上勝町議会議長、立川信彦上勝町教育委員会教育長の三氏が参列され、代表して花本町長より追悼の言葉をいただきました。また、立川教育長より、当日コロナ禍対応のため参列できなかった小学生、中学生による折り鶴を奉納いただきました。

上勝町遺族会

令和三年度 勝浦町戦没者追悼式開催

勝浦町では、昨年度より「戦没者慰霊祭」に代わり「戦没者追悼式」を開催することになりました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、開催を見合わせましたが、今年度は感染予防を徹底し、規模を縮小して、去る九月二十八日勝浦町長、勝浦町遺族会役員、関係者のみで厳粛に執り行なわれました。

勝浦町長の式辞のあと参列者全員で黙祷と献花を行い、戦没者へ哀悼の意を捧



げ、平和の継承を祈りました。最後に、遺族を代表して勝浦町遺族会山本肇会長が謝辞を述べ、追悼式を終えました。

来年は、コロナが収束して多数の遺族会会員が参列し、挙行できますことを願うばかりです。

勝浦町遺族会

地方だより

ホームページ随時更新中!!

アクセス数 117,836

(令和3年10月31日現在)

各種行事、記念館の語り部事業、慰霊巡拝等の最新の情報をお知らせしています。

携帯・パソコンで **徳島県遺族会** もしくは **徳島県戦没者記念館** と入力
ホームページのアドレス URL <http://izokukai.jp/>
携帯電話のバーコードリーダーで右記QRコードを読み込んで下さい。



徳島県遺族会
靖国神社参拝団募集

実施日／令和4年3月27日(日)
～3月28日(月)

■主な訪問地

東京都内（靖国神社団体参拝、東京大空襲・戦災資料センター）
箱根神社、箱根関所跡資料館、
芦ノ湖遊覧、鎌倉・鶴岡八幡宮など

■旅行代金 68,000円

■募集人員 45名（最少催行人員25名）

■締切期日 令和4年1月21日（金）

※ただし、満員になり次第締め切ります。

■お申込先 〒770-8021

徳島市雑賀町東開21-1（護国神社内）
徳島県遺族会事務局

(TEL 088-636-3212)

■お申込金 20,000円

日付	行程	宿泊・備考
1 3/27 (日)	徳島空港 JAL454 → 羽田空港 9:15 10:25/11:05 記念撮影、ご参拝 靖国神社(昇殿参拝・遊就館見学・昼食) 11:45 14:20 千羽づる奉納後、館内見学 東京大空襲・戦災資料センター 15:00 16:00 ご夕食はホテルにて 箱根湯本温泉(泊) 17:45	箱根 箱根パークス吉野 ※昼・夕食有り
2 3/28 (月)	ホテル 関東屈指のパワースポット 箱根神社 8:20 8:50 9:30 桃源台～箱根町 芦ノ湖遊覧(海賊船) 9:50/10:10 10:45 箱根関所を完全復元 昼食 箱根関所跡資料館 箱根町 10:50 11:40 11:45/12:40 鎌倉のシンボル鶴岡八幡宮と賑やかな小町通り見学 鎌倉・鶴岡八幡宮、小町通り散策 14:15 15:45 お弁当 JAL463 → 徳島空港 17:00/18:25 19:40	※朝食・夕食有り(夕食は弁当)

戦没者遺族相談員制度について

ご遺族からの相談に応じて、助言等を行ってくださる「戦没者遺族相談員」は一覧表の18名の皆様です。10月1日から2年間の任期で、10月28日、徳島グランヴィリオホテルに於いて、委任状交付式及び研修会が行われました。各担当地区の戦没者遺族相談員に、特別弔慰金や公務扶助料に関することなど、お気軽にご相談ください。



戦没者遺族相談員

(厚生労働大臣委託) [委託期間 令和3年10月1日～令和5年9月30日]

地区担当	氏名	住所	電話番号
徳島市	米川孝宏	徳島市論田町本浦下19番地の12	088-662-1771
徳島市	緒方和子	徳島市寺島本町東1丁目15	088-653-3837
徳島市	上浦喜代志	徳島市佐古三番町13-3	088-652-2966
鳴門市	上田哲夫	鳴門市撫養町斎田字浜端西93	088-686-2208
小松島市	赤瀬敏幸	小松島市赤石町3-43	0885-37-1174
阿南市	池添哲哉	阿南市見能林町中村6-2	0884-22-5133
阿南市	神野武重	阿南市山口町蓮花寺63	0884-26-0661
吉野川市	後藤田重喜	吉野川市川島町桑村2514	0883-25-2392
阿波市	尾形信之	阿波市土成町土成字峯延25	088-695-3268
美馬市	宇山晴雄	美馬郡つるぎ町貞光字岡348番地	0883-62-3430
三好市	木下豊幸	三好市山城町下名1623	0883-84-2328
三好市	山口博視	三好郡東みよし町昼間2885番地	0883-79-2219
三好市	東功	勝浦郡上勝町大字旭字東浦九番地	090-4782-1229
名西郡	萩原一徳	名西郡石井町高原字関363-1	088-674-2511
名西郡	谷測孝雄	名東郡佐那河内村下字仕出39番地	088-679-2051
名東郡	亀代高男	那賀郡那賀町小仁字大坪102	08846-2-1603
那賀郡	坂千代克彦	海部郡牟岐町大字内妻字丸山120-3	08847-2-1013
海部郡	坂東良治	板野郡松茂町豊岡字芦田鶴11番3	088-699-2878

令和四年度の沖繩県
「平和の礎」への
追加刻銘プロジェクト

「平和の礎(いしじ)」は、沖縄戦で亡くなられた方々の慰霊と世界の恒久平和祈念のために建立され、沖縄戦で亡くなられた方々の氏名が刻銘されています。

本県関係では、平成十五年度の要領改正以来、富山丸関係の戦没者等二百九十三名を追加刻銘し、現在一千二百八十五名の戦没者の方々が刻銘されており、現在も追加刻銘が行われています。

申請は随時受け付けておりますので、徳島県出身戦没者のご遺族の方で追加刻銘を希望される方はご連絡ください。

令和四年度追加刻銘期限..

令和三年十二月三十一日(木)

※期限後に提出された場合は、令和五年の追加刻銘となります。

【お問い合わせ先】

徳島県保健福祉部
保健福祉政策課

TEL

088-621-2170

祝百歳 心よりお喜び申し上げます

支部だより

田中 千鶴子さん (牟岐町)



海部郡牟岐町出羽島の田中千鶴子さんが令和3年9月8日に百歳の誕生日を迎えられ牟岐町の養護老人ホームで徳島県、牟岐町、県遺族会よりお祝い状と記念品、花束が贈呈されました。

牟岐町遺族会よりお祝金をお渡ししました。

千鶴子さんは自身の弟さんが戦死されていました。4人姉妹の次女として生まれてからずっと出羽島で生活、25歳で漁師の夫と結婚し主婦として1女を立派に育てました。

夫が30年前に亡くなってからは出羽島で独りで暮らしていましたが、12年前に今の施設に入所してクラブ活動の習字をしたりカラオケを楽しんでいます。習字も趣味で、県外で暮らす娘さんや友人に手紙を出すなどして穏やかに過ごされています。

これからも変わらずお元気で過ごされますよう心よりご祈念申し上げます。

牟岐町遺族会会長 坂千代 克彦

板東 ヨシ子さん (阿波市)



阿波市吉野町の板東ヨシ子さんが、令和3年8月29日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられました。徳島県、阿波市、徳島県遺族会、吉野地区遺族会よりお祝い状や記念品、祝い金が贈られました。

23歳の頃吉野町へ嫁ぎ、たばこ農家をされていました。

子ども5人、孫11人、ひ孫12人に恵まれ、元気な頃は、88カ所参りが好きで20回以上行かれていたそうです。

7年ほど前より老人ホームに入所され、元気に過ごされています。現在はベッドで過ごすことが多くはなりましたが、リハビリスタッフや施設職員と会話を楽しんでおられます。長寿の秘訣は、若い頃から好き嫌いなく何でも食べることだと息子さんが話してくれました。

これからもお元気で過ごされますよう、会員一同心よりご祈念申し上げます。

吉野地区遺族会会長 後藤 耕治

横石 初枝さん (徳島市)



徳島市飯谷町の横石初枝さんは、大正10年10月16日生まれ、そして、その当時、家の長男の節雄さんと夫婦になりました。すぐに出征しフィリピンで戦死しました。後に戦地より無事に帰ってきた、三男の忠さんと夫婦になりましたが、忠さんもしばらくして事故により急死、以来2人の男子を農業をしながら育ててきました。

50歳を過ぎた頃より長期の入院となり、体調不良により50年近く苦しんで来ました。苦難の人生でした。

自宅で長い間、家族の介護のもと生活してきました。デイサービスに行くのが楽しみの一つでした。

2年ほど前に福祉施設に入所しました。優しい介護士さんの手厚い介護によりおだやかに生活しています。

多家良地区遺族会会長 横石 忠男

岩崎 クニ子さん (那賀町)



令和3年10月1日、那賀町築ノ上の岩崎クニ子さんがめでたく百歳の誕生日を迎えられました。新型コロナウイルス感染症対策の為、ご本人に直接お渡しすることはできませんでしたが、徳島県並びに那賀町及び徳島県遺族会、相生地区遺族会よりお祝い状と記念品が贈られました。これからお元気で過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

昭和13年に結婚し、15年1月に長男が誕生しました。18年1月に東部ニューギニアにて戦死しましたが、23年に再婚し、次男が誕生しました。子育てと、米・野菜を作る傍ら、たばこ耕作に30年ほど従事し、その後85歳ぐらまで野菜苗の栽培と販売で家計を助けていました。趣味は手芸、カラオケ、テレビのニュース・歌番組が好きでしたし、旅行も毎年、全国各地へ行っていました。長生きの秘訣は何事にもくよくよせず、ゆったり過ごすこと、早寝早起き、毎朝の乾布摩擦をしていました。6年ほど前より足、腰が弱くなり、現在は高齢者施設に入所しています。施設の皆様に大事にさせていただき幸せに過ごしているようです。

ご家族様より

那賀町相生地区遺族会会長 田中 恒弘

遺族会の動き

令和三年九月～令和三年十月行事

(九月) 1日～2日 日本遺族会中・四ブロック会議(松山市) ※延期

7日 正副会長会(護国神社)

7日 理事会(護国神社)

11日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

中下旬 英霊にこたえる会中・四ブロック会議(香川県) ※中止

28日 神恩感謝祭(護国神社)

28日 評議員会(護国神社)

(十月) 9日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

9日 青年部役員会 ※文書決議

14日～15日 日本遺族会事務局職員研修会(宮崎県) ※中止

18日 正副会長会(護国神社)

28日 戦没者遺族相談員辞令交付式・研修会(グランヴィリオホテル)

令和三年十一月～令和四年一月行事予定

※新型コロナウイルス感染症対策のため変更となる場合があります。

(十一月) 2日 徳島県護国神社例大祭(護国神社)

7日 日本遺族会青年部長会議(KKRホテル東京)

8日 日本遺族会支部長・事務局長合同会議(参議院議員会館)

9日 日本遺族会女性部長会議(参議院議員会館)

上中旬 沖縄「徳島の塔」慰霊参拝 ※中止

13日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

13日 父の像清掃・第3ブロック(徳島中央公園)

26日 千羽つる奉納事業(岡山県護国神社ほか)

26日 正副会長会(護国神社)

26日 戦没者記念館運営企画委員会(護国神社)

(十二月) 11日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

13日 全国戦没者遺族大会(自由民主会館)

中旬 厚生労働大臣表彰(厚生労働省)

(一月) 8日 正副会長会

8日 語り部事業(戦没者記念館)

14日 第12回特別企画展(戦没者記念館)

26日 日本遺族会事務局局長会議(千代田会館)

27日 日本遺族会女性部長会議(千代田会館)

28日 日本遺族会青年部長会議(千代田会館)

海外慰霊巡拝(台湾・パシフィック海峡) ※中止